

---

---

**BK-1000**  
BASS KEYBOARD

**取扱説明書**

---

---

**YAMAHA**

# ごあいさつ

このたびはヤマハバスキーボードBK-1000をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
BK-1000は、楽器づくりの経験豊かなヤマハが、最新の技術を駆使して開発した画期的なバスキーボードです。ご使用にあたりましては、この取扱説明書をご一読のうえ、BK-1000の機能を充分にご活用いただき、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

# 目次

主な特長 .....	1
仕 様 .....	2
安全上のご注意 .....	3 ~ 4
各部の名称と機能 .....	5 ~ 6
コントロールパネル .....	5
外部入出力端子 .....	6
MIDI について .....	7
MIDI (ミディ) とは...? .....	7
接続方法について .....	7
BK-1000 MIDI インプリメンテーションチャート .....	8
故障とお考えになる前に / 保証とサービスについて .....	9
ヤマハサービスネットワーク .....	10

# 主な特長

1. 美しくクリアな音色  
音づくりにヤマハ独自のAWM音源方式を採用。美しくクリアな音色を実現しました。
2. 多彩な音色  
音色は弦楽器から管楽器、鍵盤楽器、打楽器まで12種類。さまざまなアンサンブル活動にも大きな効果を発揮します。
3. 演奏の幅を広げるキーボードパーカッション  
ドラム、シンバル、日本太鼓など、12音色のキーボードパーカッションを採用。
4. 豊かな音量  
アンプは100W。30cmウーハーとホーンツイータの2ウェイスピーカーと相まって、背面から豊かな音が響きます。
5. MIDI対応  
MIDI端子を装備。これからの時代に対応し、演奏の幅を広げます。

# 仕 様

音 源	AWM 音源
最大同時発音数	パネル音色 8 音 + パーカッション音色 8 音
鍵 盤	37 鍵 C スケール (3 オクターブ)
音 域	C <sub>0</sub> ~ C <sub>3</sub> (チャイムのみ C <sub>3</sub> ~ C <sub>6</sub> )
音 色	12 音色 (コントラバス 1、コントラバス 2、エレキベース、シンセベース、 ストリングス、バスクラリネット、ファゴット、チューバ、 E.ピアノ、チャイム、マリンバ、ティンパニ)
キーボードパーカッション	12 音色 (コンサートバスドラム、クローズハイハット、バスドラム、 オープンハイハット、スネアドラム、フロアタム、ライドシンバル、 ミッドタム、銅鑼、ハイタム、日本太鼓 (棹打ち) 日本太鼓)
効 果	サステイン、ビブラート
コントロール	全体音量ボリューム、ピッチ切替スイッチ、サステインスイッチ、 ビブラートボリューム、鍵盤音量ホイール、 マイク入力 / ボリューム、外部入力 / ボリューム
外部入出力端子	マイク入力、外部入力 (モノラル)、外部出力 (モノラル)、 ヘッドホン (ステレオ)、MIDI (IN, OUT, THRU)、EXP
メインアンプ	最大定格出力 100W
スピーカー	ウーハー 30cm (6 ) ホーンツイーター (6 )
定格電圧	AC 100V
周波数	50Hz / 60Hz
消費電力	95W
寸 法	間口 69.0cm、奥行 43.8cm、高さ 81.7cm
重 量	42kg
仕上げ	黒 PVC シート貼り

# 安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

## 記号表示について

⚠ 記号は、危険、警告または注意を示します。

⊘ 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

● 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

\* お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

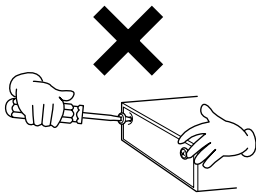
## 警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。感電や火災、または故障の原因になります。



使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



(アース付き電源プラグの場合)アース線を確実に取り付ける。感電のおそれがあります。(アース線の取り付け方については付属の取扱説明書をご参照ください。)



手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。感電やショートのおそれがあります。

## 注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。



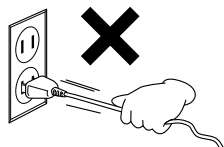
電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



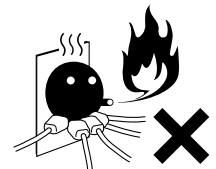
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



タコ足配線をしない。

コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



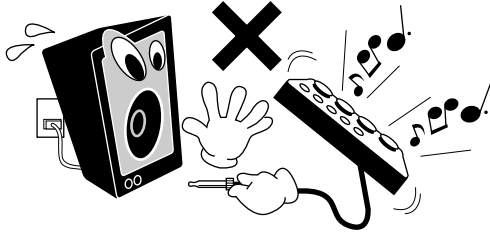
電源コードやプラグがいたんだときは使用しない。また、長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電、ショート、発火などの原因になります。

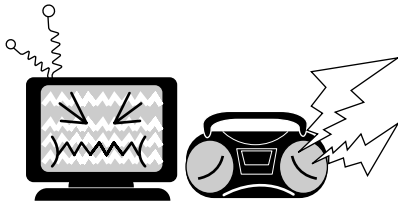
# ⚠️注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

- ❗ 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。  
感電または機器の損傷のおそれがあります。



- ⊘ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。  
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。
- ⊘ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。  
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



- ⊘ 不安定な場所に置かない。  
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしったりする原因になります。
- ❗ 本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。  
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

- ❗ 本体を移動する時には必ずストッパーを外し、大人が2人以上で移動すること。また、平らな面以外は持ち上げて移動すること。  
本体が転倒して故障したり、お客様がけがをしったりする原因になります。  
BK-1000の重量は42kgです。移動時の取り扱いには充分ご注意ください。

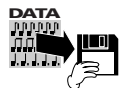
- ⊘ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。  
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ⊘ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。  
本体が破損する原因になります。
- ⊘ 本体を使用しない場合、または演奏中は必ずキャスターのストッパーをかけておくこと。
- ⊘ (スタンドやラックを使用する製品の場合)指定のスタンド/ラック以外は使用しない。また、取り付けには必ず付属のネジを使用する。  
本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。
- ⊘ (放熱ファンや放熱用スリット付きの製品の場合)本体の放熱ファンや放熱用スリットに本などを置いて、ふさがない。(エレキトーンやクラビノーバの場合)本体を壁につけない。  
換気が十分でない、本体内部に熱がこもり、火災が発生するおそれがあります。
- ⊘ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。  
聴覚障害の原因になります。



- ⊘ (バックアップバッテリー[リチウム電池]が内蔵された製品の場合)バックアップバッテリーは自分で交換しない。  
感電や火災、または故障などの原因になります。バックアップバッテリーの交換は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にお申し付けください。
- ⊘ バックアップバッテリーを子供の手の届くところに置かない。  
お子様が誤ってバックアップバッテリーを飲み込むおそれがあります。

- ❗ (フロッピーディスクドライブが内蔵された製品の場合)作成したデータはこまめにフロッピーディスクに保存する。  
作成したデータは、故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、必ずフロッピーディスクに保存することをおすすめします。



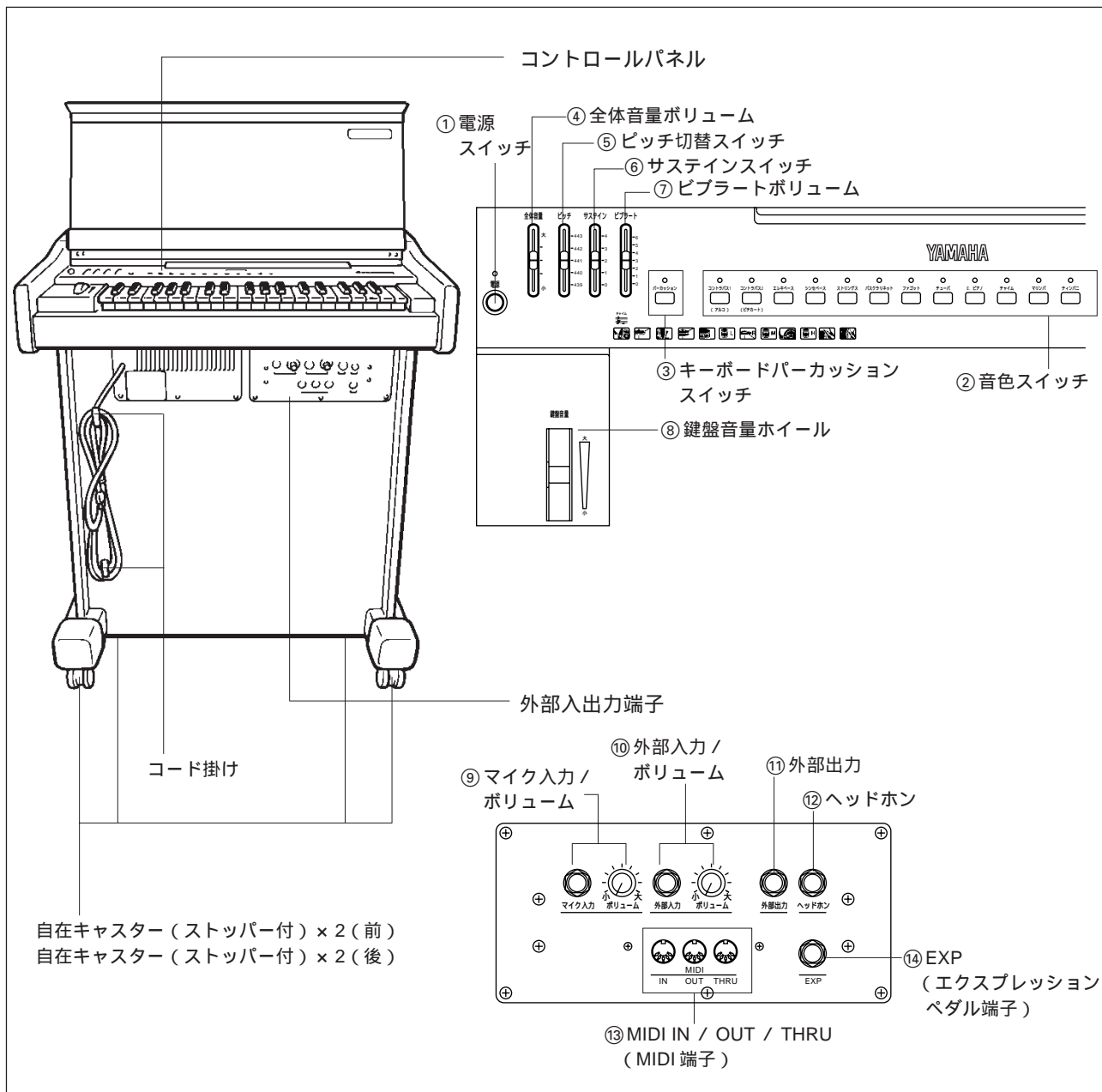
- (フロッピーディスクドライブが付いていない製品の場合)作成したデータは、故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータはヤマハMIDIデータファイラーMDF2などの外部機器に保存されることをおすすめします。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

長時間使用しないときは、必ず電源を切りましょう。

\* この製品は、電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

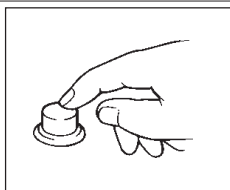
# 各部の名称と機能



## コントロールパネル

### ① 電源スイッチ

電源スイッチを入れると、電源ランプと音色スイッチの“コントラバス1”のランプが点灯します。バスキーボードは、これで演奏可能な状態になります。

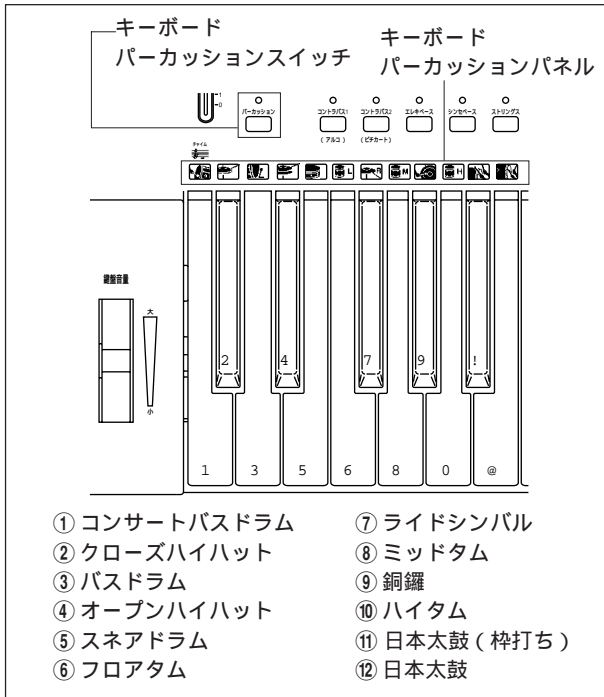


### ② 音色スイッチ

音色を選ぶスイッチです。スイッチを押すとスイッチの上にあるランプが点灯します。BK-1000は、弦楽器、管楽器、鍵盤楽器、打楽器などの12種類の音色を持っています。

### ③ キーボードパーカッションスイッチ

“パーカッション”のスイッチを押すと、キーボードパーカッションの演奏が可能になります。鍵盤C0～B0に鍵盤上のイラストのパーカッションが割り当てられます。キーボードパーカッションはドラム、シンバル、日本太鼓など12種類の音色を持っています。



### ④ 全体音量ボリューム

スピーカーから出る全体の音量をコントロールするレバーです。マイク端子や外部入力にマイクや他の電子楽器を接続している場合、それらの音も含めて全体の音量をコントロールします。

### ⑤ ピッチ切替スイッチ

音の高さを調節するレバーです。ピッチの範囲は、A = 439Hz (ヘルツ) から 443Hz (ヘルツ) で、通常は 442Hz (ヘルツ) のところにレバーをセットします。

### ⑥ サステインスイッチ

鍵盤から指を離れたあと、音に余韻を持たせる効果です。サステインの範囲は0から4で、0の位置にした音が基本の音です。レバーを上をスライドさせるほど、余韻が長く残ります。

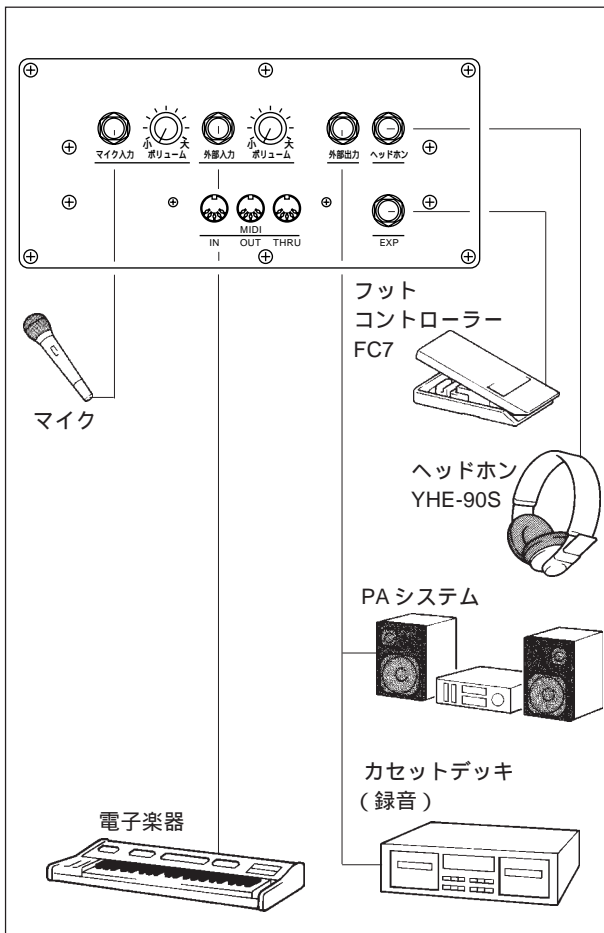
### ⑦ ビブラートボリューム

音が揺れる効果を加えます。ビブラートの範囲は0から6で、0の位置にした音が基本の音です。レバーを上をスライドさせるほど、揺れる効果が大きくなります。

### ⑧ 鍵盤音量ホイール

鍵盤の音量をコントロールするホイールです。ホイールを上へ回すほど音は大きくなります。

## 外部入出力端子



### ⑨ マイク入力/ボリューム

マイクの音をバスキーボードのスピーカーから出したいときに使います。ボリュームのつまみを右へ回すほど音は大きくなります。

### ⑩ 外部入力/ボリューム

他の電子楽器の音をバスキーボードのスピーカーから出したいときに使います。ボリュームのつまみを右へ回すほど音は大きくなります。

### ⑪ 外部出力

カセットデッキに接続して、演奏を録音したり、PAシステムなどに接続して、より迫力のあるサウンドを楽しむこともできます。

### ⑫ ヘッドホン

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホン使用時には、バスキーボード本体のスピーカーからは音が出なくなります。

### ⑬ MIDI IN / OUT / THRU (MIDI 端子)

MIDI (Musical Instrument Digital Interface) は、デジタル電子楽器の世界統一規格です。MIDI ケーブルを使って、MIDI対応のシンセサイザーやシーケンサーなどと接続すれば、多様な活用ができます。(使用方法などについては、“MIDIについて”をご参照ください。)

### ⑭ EXP (エクスプレッションペダル端子)

フットコントローラー FC7をつないで、鍵盤音量の調整ができます。(鍵盤音量ホイールは使えなくなります。)



# MIDIについて

## MIDI (ミディ) とは…?

バスキーボードBK-1000には、先進のエレクトロニクス楽器ならではの楽しみ方ができるMIDI端子がついています。このMIDI (ミディ) とは、Musical Instrument Digital Interface (ミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス) を略したもので、電子楽器どうしをMIDIケーブルで接続し、音程や音の長さといった演奏の情報などをお互いに交換するためのものです。また、MIDIは電子楽器の世界の統一規格ですから、どの製品でも、MIDI端子がついていれば演奏情報の交換をすることができます。

## 接続方法について

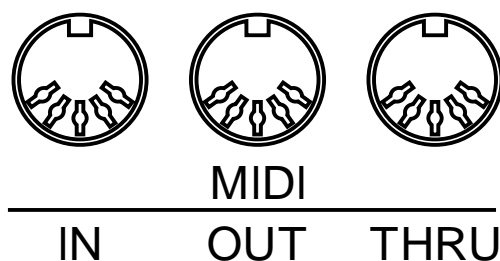
BK-1000のMIDI端子には、イン、アウト、スルーの3つの端子があります。

MIDIケーブルを接続することで、他の機器からBK-1000を鳴らしたり、BK-1000で他の機器を鳴らすことができます。

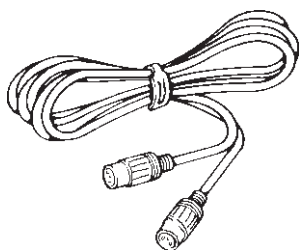
接続は、MIDIケーブルを使いますが、オーディオのDINケーブルと酷似していますので注意してください。なお、オーディオのDINケーブルをMIDI端子には絶対接続しないでください。故障の原因になります。BK-1000から演奏の情報を送る場合はアウト端子に、他の電子楽器から情報を受けてBK-1000の音源を使って音を出す場合はイン端子に接続してください。また、インに入った情報をそのまま送り出すには、スルー端子に接続してください。

(MIDIを使って情報交換できるのは、あらかじめMIDI端子をそなえた機器に限られます。)

MIDI アウト / イン / スルー端子



接続に使う MIDI ケーブル



MIDI-15 (15m)  
MIDI-03 (3m)



# BK-1000 MIDI インプリメンテーションチャート

[バスキーボード]

Model BK-1000 MIDI インプリメンテーションチャート

Date : 1996. 1.30

Version : 1. 0

ファンクション		送 信	受 信	備 考
ベーシック チャンネル	電源 ON 時 設定可能	7、10 *****	1-6、10 *****	10 : パーカッション * 1
モード	電源 ON 時 メッセージ 代用	モード 3 x *****	モード 3 x x	
ノートナンバー	音域	24 - 60 *****	24 - 60 x	
ベロシティ	ノート・オン  ノート・オフ	96H、V=64 99H、V=64 96H、V=0 x 99H、V=0	96H、V=1 - 127 99H、V=1 - 127 96H、V=0 x	パーカッション * 1
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	x x	x x	
ピッチベンダー		x	x	
コントロール チェンジ	1 11 64	27 - 127 * 4	0 - 127 0 - 127	モジュレーション * 2 エクスプレッション * 3 ホールド 1 * 4
プログラム チェンジ	設定可能範囲	0 - 11 *****	0 - 11 0 - 11	
エクスクルーシブ		x	x	
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	x x x	x x x	
リアルタイム	クロック コマンド	x x	x x	
その他	ローカル ON/OFF オール・ノート・オフ アクティブセンシング リセット	x  x	x  x	
備考	* 1 パーカッション演奏時 ノートナンバー 24 - 35 * 2 パーカッションでは、モジュレーション及びサステインは使用しない。 * 3 エクスプレッションは、どの音色でも機能する。 パーカッション演奏時、リズムチャンネルも送信する。 * 4 サステインスイッチに割り当てられた、0、65、86、107、127のみを送信する。			

モード 1 : オムニ・オン、ポリ  
モード 3 : オムニ・オフ、ポリ

モード 2 : オムニ・オン、モノ  
モード 4 : オムニ・オフ、モノ

: あり  
x : なし

## 故障とお考えになる前に

1. スイッチを入れると約2秒後にカッチンと音がする。バスキーボードが作動し、メインアンプ内部に電流が流れたために起こる音ですのでご心配ありません。

2. 時々雑音が入る。(ガリッとかポツンという雑音)  
電気器具の電源の入・切時、また、市街地のネオンサインの故障、電気ドリルなどがバスキーボードに影響することがあります。このようなときには原因と思われる機器からなるべく離れたコンセントを使ってみてください。それでも直らない場合、原因不明の場合は最寄りのヤマハサービスセンターまでご相談ください。

3. 音が割れる。(共鳴する、あるいはピリつく)  
持続音の多い音を選んだ場合、バスキーボードの音は低音が多いため周囲の戸棚、窓ガラス、その他の器物に共鳴して音が割れて聞こえることがあります。このようなときには音量を小さくするか共鳴物を取り除くようにしてください。それでも直らない場合、原因不明の場合は最寄りのヤマハサービスセンターまでご相談ください。

4. テレビ、ラジオ、アマチュア無線等の電波が入る。  
近くに大出力の放送局やアマチュア無線局があるとき、バスキーボードに影響する場合があります。どうしても気になる場合には、最寄りのヤマハサービスセンターまでご相談ください。

5. 選んだ音色によって、鍵盤位置による音量のばらつきがある。  
一般に電子楽器では、音色を変えるという本質的な要素をもつため、音色による各鍵盤の音量のばらつきをなくすることは非常に困難です。バスキーボードでは、どの音色でも演奏上問題のないように設計、調整されています。また、音量や音色は、バスキーボードの設置場所の状態や聞く位置などによって大きく異なることがあります。どうしても気になるときは、お買い求めいただいた楽器店までご相談ください。

## 保証とサービスについて

### 1. 保証

バスキーボードの保証は、保証書によりご購入日から満1ヶ年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。また、保証は日本国内のみ有効といたします。

### 2. 保証書

バスキーボードの納入調整サービスの際、技術者が保証書内へ必要事項記入のうえ、発行致しますので記載事項をご確認ください。

### 3. 保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社がバスキーボードをご購入いただいたお客様にご購入の日から向う1ヶ年の無償サービスをお約束申し上げます。万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費をいただくことがございますので、必要に応じていつでもご提示いただけますよう保管してください。

また、後々のサービスに際しての機種判別やサービス依頼店の確認にご利用いただけますし、調整記録を記入する欄もございますので、保証期間が過ぎましても大切に保管ください。

### 4. 納入点検調整サービス

バスキーボードをお納めさせていただきますと、楽器店の技術者が楽器のご説明かたがたバスキーボードを最良の状態にするよう点検調整にお伺い致します。お求めのバスキーボードについて、ご不明の点およびお聞きになりたい事がありましたら、その節にお申しつけください。

### 5. 保証期間中のサービス

1. 保証期間中に万一故障が発生した場合には、お買い求めいただいた楽器店にご連絡いただけますと楽器店またはヤマハの技術者が調整修理にお伺いします。

2. 保証書は、サービスにお伺いした時に今後貴重な資料とするため一時技術者がお預りさせていただきます。お預りした保証書は、弊社サービスセンターに送られ、必要事項を記録した後直接お客さまにご返送申し上げます。この間、約1週間～10日間程度を要しますが、ご心配なくお待ちくださいますようお願い申し上げます。

### 6. 保証期間後のサービス

満1ヶ年の保証期間が切れますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスをさせていただきます。補修用性能部品(製品本来の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は8年となっております。

### 7. サービスをご依頼になる前に

1. コンセントに電気が来ているかどうか、他の電気製品を接続してお確かめください。

2. ご依頼いただいたサービスにお伺いした際、故障でないような場合には、点検代と出張経費などの実費をいただきます。

### 8. サービスのお約束について

1. できるだけお伺いする日時を事前にお約束させていただきます。

2. 万一お約束した日時がご都合の悪い時には、できるだけ早くサービスをご依頼されたお店にご連絡ください。

3. サービスご依頼後、日時が経過してもなお技術者がお伺いしない場合はお手数でも右記サービスセンターまでご連絡ください。責任をもって処理させていただきます。

# ヤマハサービスネットワーク

全国のヤマハ特約楽器店と下記サービスセンターが責任をもってアフターサービスを行っております。

## ヤマハ電気音響製品サービス拠点（修理受付および修理品お持込み窓口）

北海道サービスセンター	〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50	ヤマハサービスセンター内	Tel 011-513-5036
仙台サービスセンター	〒983	仙台市若林区卸町5-7	仙台卸商共同配送センター3F	Tel 022-236-0249
首都圏サービスセンター	〒211	川崎市中原区木月1184		Tel 044-434-3100
東京サービスステーション (お持ち込み修理のみのお取り扱い)	〒108	東京都港区高輪2-17-11		Tel 03-5488-6625
浜松サービスセンター	〒435	浜松市上西町911	ヤマハ(株)宮竹工場内	Tel 053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2	ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	Tel 052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565	吹田市新芦屋下1-16	ヤマハ(株)千里丘センター内	Tel 06-877-5262
四国サービスステーション	〒760	高松市丸亀町8-7	(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	Tel 0878-22-3045
広島サービスセンター	〒731-01	広島市安佐南区西原6-14-14		Tel 082-874-3787
九州サービスセンター	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4		Tel 092-472-2134
[本社] カスタマーサービス部	〒435	浜松市上西町911	ヤマハ(株)宮竹工場内	Tel 053-465-1158

## 管教育楽器に関するお問い合わせ窓口

北海道支店	〒064	札幌市中央区南10条西1-1-50	ヤマハサービスセンター内	Tel 011-512-6113
仙台支店	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10		Tel 022-222-6146
東京支店	〒108	東京都港区高輪2-17-11		Tel 03-5488-1672
関東支店	〒108	東京都港区高輪2-17-11		Tel 03-5488-1689
名古屋支店	〒454	名古屋市中区錦1-18-28		Tel 052-201-5166
大阪支店	〒565	大阪市中央区南船場3-12-9	心齋橋プラザビル東館	Tel 06-252-5341
広島支店	〒730	広島市中区神屋町1-1-18	ヤマハビル	Tel 082-244-3771
九州支店	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4		Tel 092-472-2155
国内楽器営業本部 管教育楽器営業部 教育楽器営業課	〒430	浜松市中沢町10-1		Tel 053-460-2405

**YAMAHA**  
ヤマハ株式会社